

1 ヒヤリハット NEWS

ある現場で、ハンディ(充電式)クリーナの
バッテリー(電池)が発火!
ゴミ回収カートが半焼する。

原因:

ゴミ回収カートの外側ポケットに、ハンディ
クリーナのバッテリーを透明カバーもせず、
2個一緒に入れていたため発火した。



今後の注意点

バッテリーは、発熱、発火、破裂の恐れがあることを認識する。



- ①保管及び携帯する場合は、必ず
透明の専用キャップをつける事!
専用キャップが無い場合は、
絶縁テープ(ビニールテープでも可)
を代用して絶縁状態にすること。
(ガムテープは不可)
- ②濡れてしまったバッテリー(電池)は使用
しない事!

- ③バッテリーの充電時は、充電器の底にあたるまで入れること。
⚠️しっかり差し込まれていないと発火する恐れがある。

- ④バッテリー(電池)の充電は業務終了と同時に中止し、すみやかに充電
器から取りはずしてキャップを装着し保管すること。
充電器の電源も必ずOFFにすること。

質問・ご意見は 広報グループ 横田・斉藤まで ☎075-863-0588

2 月間目標 6・7月は..

みなさんに、ご協力をお願いしているこの「月間目標」も、6月で1年をむかえました。意識することの重要性や早い行動力など、各職場で定着していますか。順次行っている現場責任者の会議等で意見を聞かせてください。お客さまに喜んでいただくために考え、改善し、行動する浄美社のスタッフであってほしいと願います。

・重点箇所:
洗面台の蛇口など
いろいろな金属部分を
ピカツとなるようにふきましよう。
・めざそう職場の安全・安心
(全国安全週間スローガン)



今年も募集します
こども絵画コンクール
詳細は次号と給与明細書に添付します。

3 こわい熱中症 自己診断チェックシート

自覚症状以上に脱水状態が進行している
ときが、たいへん危険です。



環境・作業

- ①重労働では無いものの、活動時間が長いとき。
- ②高温多湿で無風な環境では、汗が蒸発しにくいので、体温調節がうまくできないまま発汗が増えて、脱水状態に陥りやすい。
- ③なれない作業の初日に、長時間連続作業を行うとき。(身体に負担が大きい。)
- ④急に暑くなった環境下での作業。

作業管理対策

- ①作業時間の短縮
・作業休止時間や休憩時間を確保する。
・高温多湿場所での連続作業の時間を短縮する。
- ②熱への慣れ
・熱に慣れ適応するように、少しずつ慣らす。
- ③水分及び塩分の摂取
・自覚症状の有無にかかわらず、作業前後の摂取及び作業中に定期的に摂取する。
・水分及び塩分の摂取を確認するために記録する。

職場における熱中症の特徴

労働者

- ①当日の労働者の健康状態が大きく影響する。
- ②疾患により、脱水状態を生じやすくなったり、内服する薬により影響を与えるおそれがある。

特に注意

大量の発汗時、塩分が含まれていない飲料を飲むと、脱水状態が改善されないことがあります。大量の水分と塩分が減った状態で水だけを補給すると、もとの体液量に戻る前に体液の濃度が正常化して飲料欲求がとまるからです。発汗で失われた体液量が回復しないままに喉の渇きが消失し、自覚症状もなく、その後に高温多湿場所で作業を継続すると脱水状態が進行します。

熱中症に関する健康状態自己チェックシート

朝礼時チェック	既往症・生活習慣	以下の人は熱中症にかかりやすい人です。	
		1	高齢者(65歳以上)である。
		2	心筋梗塞、狭心症などにかかったことがある。
		3	これまで熱中症になったことがある。
		4	高血圧である。
		5	ふとっている。
		6	風邪を引いて熱がある。
		7	下痢をしている。
		8	二日酔いである。
		9	朝食を食べていない。
10	寝不足である。		
休憩時チェック	重症度Ⅰ	以下の人は熱中症にかかっている人です。	
		11	めまい、立ちくらみがする。
		12	汗をふいてもふいても出てくる。
		13	手足や身体の一部がつる。
		14	頭がズキンズキンと痛い。
		15	吐き気がする。
	重症度Ⅱ	16	体がだるい。
		17	判断力・集中力が低下する。
		18	意識が無い。
	重症度Ⅲ	19	体がけいれんする。
		20	体温が高い。
		21	呼びかけに反応してしない。
22		まっすぐに歩けない。走れない。	

症状が重くなる

(厚生労働省 職場における熱中症予防対策マニュアルからの抜粋)